

インテリアカウンター

ベリティス	
商品	P.1088
⑩オーダー対応	P.1110

施工のポイント(寸法単位:mm)

施工上のご注意

- カウンターに高熱を発するもの、熱源機、および湿気のあるものを近づけないでください。(カウンターの割れ・変色・反りなどの原因になります。)
- カウンターを直射日光の当たる場所や壁面などへの立てかけ、地面・モルタル床面への直置きなどしないでください。(カウンター本体および部材の反り、ねじれなどの原因になります。)
- カウンター本体は桧木(900mm間隔以下)を敷いて、平置きしてください。
- カウンター本体・部材(木塗装品)および配線キャップの汚れをふき取る場合、アルコール・シンナーなどの薬品でふかないでください。(変色・つや落ちなどの原因になります。)
- カウンター本体および部材・部品は、屋内専用商品です。屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。(カウンター本体および部材の反り、ねじれなどの原因になります。)
- カウンター本体は垂直方向に施工しないでください。

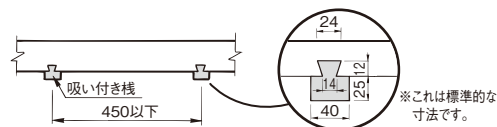
カウンター取り付け上のご願い

お願い

- 木は湿気を吸収し、放出する性質を持っていますが、それに伴う伸縮により、反り・割れ・かん合部のすき間・波打ちが発生する場合があります。
- 天然木を使用していますので、加工・施工方法が適切でないと、水分の吸収・乾燥により、割れや反りの原因になります。

耐水集成タイプ 広幅サイズ(特に600mm以上)のカウンターを施工される場合

カウンター裏面に吸い付き桧を固定してください。



耐水集成タイプ 無塗装品を施工される場合

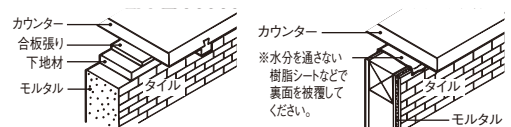
表面、裏面、木口面、切断面に塗装(重ね塗り3回以上)してください。

テーブルとして使用される場合

テーブルの表面または下部に高熱を発するもの、熱源機、および湿気のあるものを近づけないでください。(カウンターの割れや反りの原因になります。)

耐水集成タイプ モルタル塗りやタイル張りをする場合

施工時にモルタルと集成材が、直接触れないようにしてください。



壁付け施工の場合

壁面と接する部分には、必ずシリコンシーリングをして水分が木口面および裏面側にまわり込まないように施工してください。(シーリングが不十分な場合、カウンターの膨れや割れが発生しますので十分ご注意ください。)

耐水集成タイプ 切断する場合

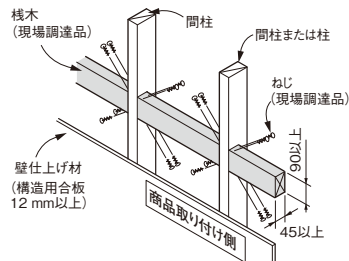
切断面をサンドペーパー(#240程度)で平滑にしてから、市販塗料で木口を塗装(重ね塗り3回以上)してください。

カウンターレール

■施工前の確認(下地桧の取り付け)

カウンターレールの固定位置には、下地桧が必要です。下記の手順で桧木を取り付けてください。

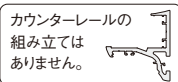
- ①柱・間柱・桧木におし用の下穴をあける。
- ②躯体のカウンターレールの固定位置に桧木を取り付け、ねじ(現場調達品)を下地桧の上下両側からねじ込んで固定する。



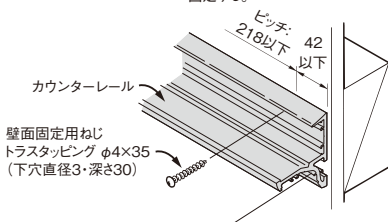
- ※桧木は必ず45×90mm以上のものを使用してください。
- ※壁が傾いていると、カウンターも傾きます。(壁が傾いていると、カウンターも傾きます。)
- ※石こうボードは使用しないでください。

施工手順

1 カウンターレールの取り付け

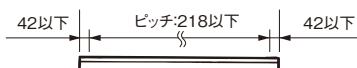


- ①カウンターレールの取り付け位置を決め、カウンターレール固定用の下穴をあける。(直径3・深さ30mmの下穴)
- ②カウンターレールを壁面固定用ねじで固定する。



カウンターレールの固定位置

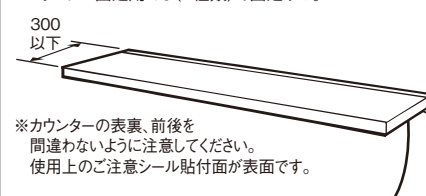
※柱または間柱に固定してください。



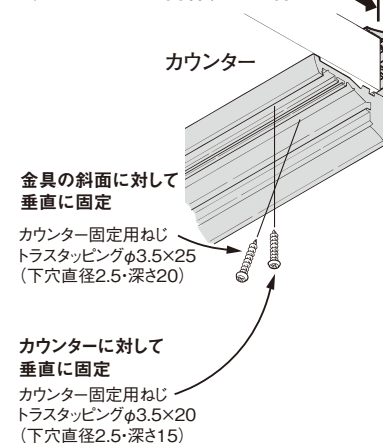
2 カウンターの取り付け

- ①カウンターをカウンターレールにはめ込む。
- ②カウンター裏面に、カウンターレール固定用の下穴をあける。
※カウンターはカウンターレールの固定位置と同じ間隔で固定してください。
(垂直用: 直径2.5・深さ15mmの下穴)
(斜面用: 直径2.5・深さ20mmの下穴)

- ③カウンターとカウンターレールをカウンター固定用ねじ(2種類)で固定する。

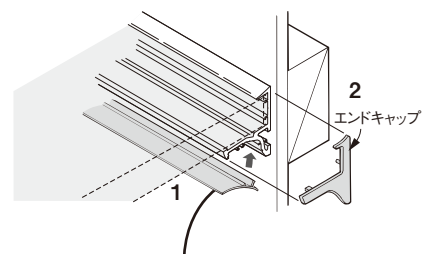


カウンターレールに密着するまで押し込む



3 アルミカバー・エンドキャップの取り付け

- ①カウンターレールの底面にアルミカバーをはめ込む。
※カウンターレールの両側がすき間のない壁の場合、一度アルミカバーをはめ込むと取り外しができなくなりますので、十分ご注意ください。
- ②カウンターレールの両端にエンドキャップをはめ込む。

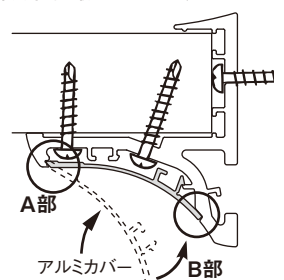


アルミカバーの取り付け

カウンターレールの端からアルミカバーを差し込む。

端から挿入できない場合

- (1)カウンターレールA部のくぼみに引っ掛けた状態で下部から上向きに押し込む。
- (2)B部の突起部分に引っ掛けるようにして固定する。
※端から中央方向へ順にはめ込んでください。



施工のポイント(寸法単位:mm)

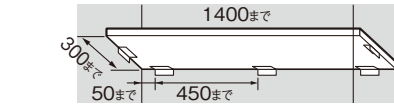
受け桟

■施工前の確認(下地棧の取り付け)

受け桟の固定位置には、下地棧が必要です。
取り付け手順はカウンターレールをご参照ください。

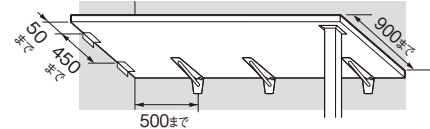
■取り付け位置

●受け桟のみ(両側壁の場合のみ)



※長さは1400以下、奥行きは300以下
超える場合は、アングル、脚を併用してください。

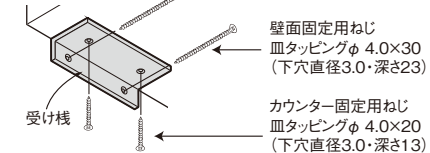
●脚とアングルとの併用(片側もしくは両側壁の場合)



※カウンターの奥行きが、アングルの対応奥行きを超える場合の
オープン側およびカウンターの長さ1400mmを超える場合、
脚を併用して取り付けください。
※奥行き451mm以上の場合は受け桟を2個取り付けてください。
※受け桟とアングルの間隔は500mm以下にて取り付けてください。

施工手順

- ①壁面に受け桟固定用の下穴をあけ、受け桟をねじで固定する。
- ②カウンター裏面に受け桟固定用の下穴をあけ、カウンターを取り付ける。

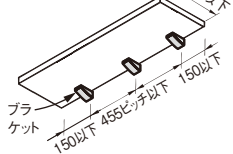


ブラケット

■施工前の確認(下地棧の取り付け)

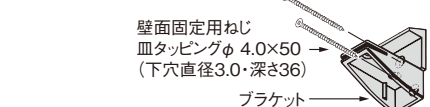
ブラケットの固定位置には、下地棧が必要です。
取り付け手順はカウンターレールをご参照ください。

■ブラケットの 取り付け間隔と 取り付け位置

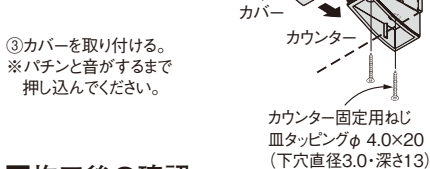


施工手順

- ①壁面にブラケット固定用の下穴をあけ、ブラケットをねじで固定する。



- ②カウンター裏面にブラケット固定用の下穴をあけ、カウンターを取り付ける。
(下穴の大きさは右図参照)



■施工後の確認

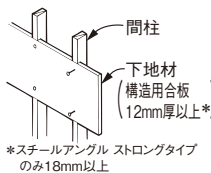
取り付けにがたつきがないか確認してください。
がたつきがあれば補修してください。

スチールアングル／木製アングル

■施工前の確認

下地材の取り付け

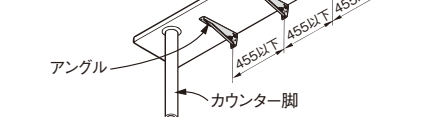
アングルの固定位置には、棧木
(45×120mm以上)と壁下地材
(構造用合板12mm以上*)、
もしくは、右図のようにあらかじめ
下地材を取り付けてください。



■アングルの取り付け間隔と取り付け位置

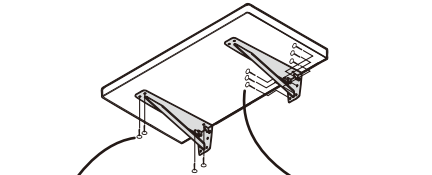
※スチールアングルアーチタイプは
脚と併用できません。

※記載の寸法はアングルの
取り付け間隔です。



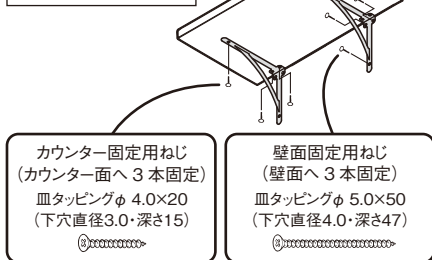
スチールアングルの施工手順

- ①カウンター裏面にアングル固定用の下穴をあける。
(下穴の大きさは下図参照)
- ②壁下地にアングル固定用の下穴をあける。
(下穴の大きさは下図参照)
- ③スチールアングルをカウンターおよび壁面にねじで固定する。



カウンター固定用ねじ (カウンター面へ4本固定) スチールアングル 250/350 皿タッピングφ 4.0×20 (下穴直径3.0・深さ15) ②	壁面固定用ねじ (壁面へ6本固定) スチールアングル 250/350 皿タッピングφ 5.0×50 (下穴直径4.0・深さ47) ③
(カウンター面へ6本固定) スチールアングル ストロング なべタッピングφ 3.5×20 (下穴直径2.5・深さ15) ②	スチールアングル ストロング なべタッピングφ 6.0×50 (下穴直径5.0・深さ47) ③

スチールアングル アーチタイプの場合

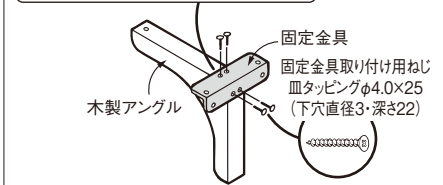


注意 ●固定するねじは必ず付属のねじを使用し、
すべて取り付け。
守らないと、がたついたり、アングルが外れて
落下し、けがをするおそれがあります。

木製アングルの施工手順

1 固定金具の取り付け

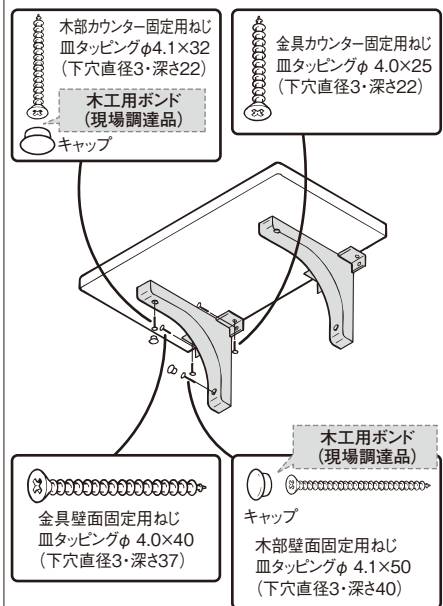
- ①固定金具を木製アングルに仮置きし、木製アングルを研磨して、
段差を取り除く。
- ②木製アングルに固定金具取り付けねじ用の下穴を4か所あける。
(直径3・深さ22mmの下穴)
- ③木製アングルと固定金具を取り付けねじで4か所固定する。



2 カウンターおよび壁面への固定

※アングルの取り付け間隔と取り付け位置をお守りください。

- ①カウンター裏面にアングル固定用の下穴をあける。
(下穴の大きさは下図参照)
- ②壁下地にアングル固定用の下穴をあける。
(下穴の大きさは下図参照)
- ③木製アングルをカウンターおよび壁面にねじで固定する。
- ④木製アングルのねじ穴位置部分には、木工用ボンド
(現場調達品)を塗布した後、キャップをはめ込む。



■施工後の確認

取り付けにがたつきがないか確認してください。
がたつきがあれば補修してください。

内装ドア

開き戸・
引戸
折れ戸
戸襖ドア・
戸襖引戸
幅広
上吊り引戸
自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用 建具

折れ戸
3枚連動
引戸
開き扉

収納用 内部パーツ

玄関用 収納

クローク
ボックス
エントランス
パーツ
コンボリア

造作部材・ 腰壁部材

スリット格子

窓枠セット ジャストカット オーダー

インテリア カウンター

階段・ 手すり

防音建材

室内物干し ユニット

床下収納 ユニット

点検口

はしご ユニット

補修用 部材

インテリアカウンター

ベリティス	
商品	P.1088
Uオーダー対応	P.1110

新商品

施工のポイント(寸法単位:mm)

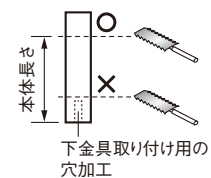
耐水集成タイプ スチール丸脚／木製角脚

■木製角脚の組み立て

①木製角脚本体をカットする。※長さを変える場合

カットする場合

下金具の取り付け用の
穴加工されていない
方を切ってください。

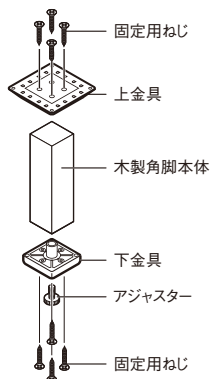


角脚本体長さの計算方法



※アジャスターは+12mm調整できます。

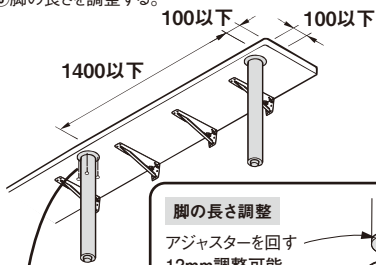
②上下金具・アジャスターを木製角脚本体にねじで取り付ける。



※スチール丸脚は組み立て不要ですが、長さカットはできません。

施工手順

- ①カウンター裏面に脚固定用の下穴をあける。
(直径4・深さ15mmの下穴)
- ②脚をカウンター裏面にねじで4か所固定する。
- ③脚の長さを調整する。



脚の長さ調整

アジャスターを回す
12mm調整可能
脚を短くする場合：時計回り
脚を長くする場合：反時計回り

固定用ねじ
4本固定／脚

丸脚
トラスタッピングφ 5.0×20
(下穴直径4・深さ15)

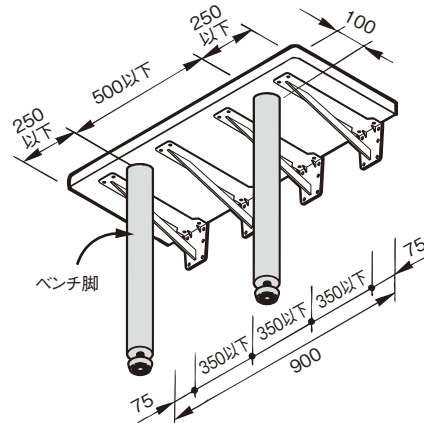
角脚
丸皿タッピングφ 5.0×20
(下穴直径4・深さ15)

■施工後の確認

取り付けにがたつきがないか確認してください。
がたつきがあれば補修してください。

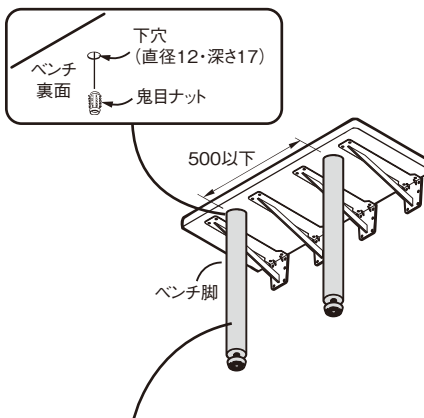
耐水集成タイプ ベンチ脚

■ベンチ脚の取り付け間隔と 取り付け位置

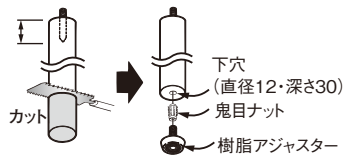


施工手順

- ①ベンチ裏面の取り付け位置に下穴をあけ、
鬼目ナットを打ち込む。(直径12・深さ17mmの下穴)
- ②ベンチの高さに合わせ、ベンチ脚をカットする。
※脚は上部80mmはカットできません。
- ③脚の下部面に下穴をあけ、鬼目ナットを打ち込み、
樹脂アジャスターを取り付ける。
(直径12・深さ30mmの下穴)
- ④ベンチに脚を取り付ける。



上部80mmはカット不可



注意 脚はすき間なく最後までしっかりとねじ込む。
守らないと、がたついたり、脚が外れて転倒し、
けがをするおそれがあります。

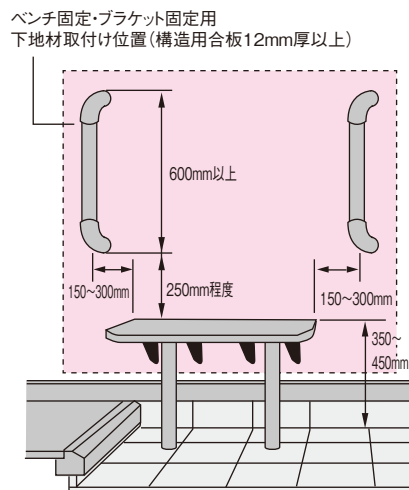
■施工後の確認

取り付けにがたつきがないか確認してください。
がたつきがあれば補修してください。

玄関ホールにベンチを設置する 場合の取り付け位置例

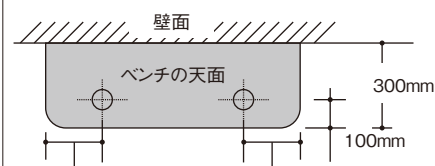
ベンチをより使いやすくするために、
手すりと併用した例をご紹介します。

- ベンチと手すりは下図のように下地材
(12mm厚以上の構造用合板)で補強を行い、
取り付けてください。
- アングルはベンチ長さ900mmの場合4本(250mm間隔)、
ベンチ長さ1200mmの場合4本(350mm間隔)で
取り付けてください。
- ベンチの標準取り付け高さは玄関のタタキ部分より
ベンチの天面まで350～450mmの位置です。
- 手すりの標準取り付け位置はベンチの端より150～
300mmとし、標準取り付け高さはベンチの天面より
250mm程度でベンチの両側に2本取り付けてください。
- ベンチ用丸脚の取り付け位置は下図を参考に
2本取り付けてください。



ベンチ用丸脚の取り付け位置

(上から見た図)



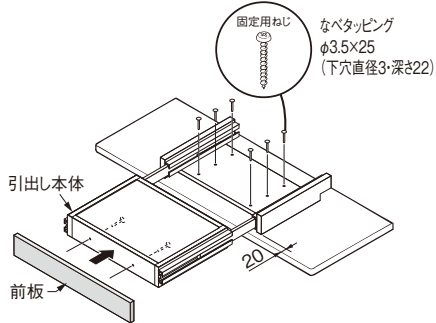
{ 200mm(ベンチ長さ900mmの場合) }
{ 250mm(ベンチ長さ1200mmの場合) }

施工のポイント(寸法単位:mm)

引出し／幕板

引出しの施工手順

- ①引出しに前板を取り付ける。
- ②カウンター裏面に引出し用固定枠取り付け用の下穴をあける。
(直径3.0mm、深さ22mmの下穴)
- ③引出しをカウンター裏面に固定用ねじで6か所固定する。



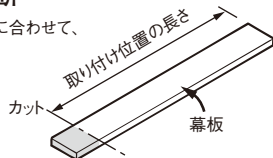
■施工後の確認

取り付けにがたつきがないか、引き出しがスムーズに開閉するか確認してください。
がたつきがあれば補修してください。

幕板の施工手順

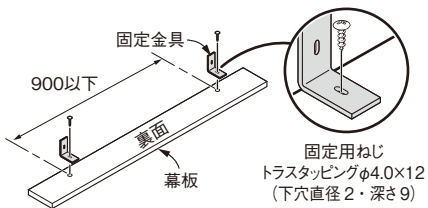
1 幕板の切断

取り付け位置の長さに合わせて、幕板をカットする。



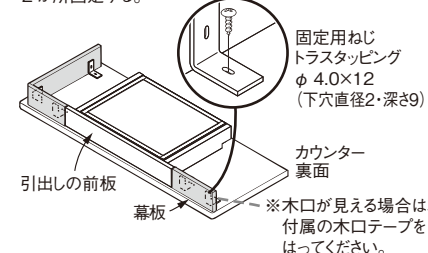
2 固定金具の取り付け

- ①幕板の裏面に固定金具取り付け用の下穴をあける。
(直径2・深さ9mmの下穴)
※幕板の厚みは15mmしかないため、下穴の深さには十分ご注意ください。
- ※固定金具の取り付け間隔は900mm以下にしてください。
- ②固定金具を幕板に固定用ねじで2か所固定する。



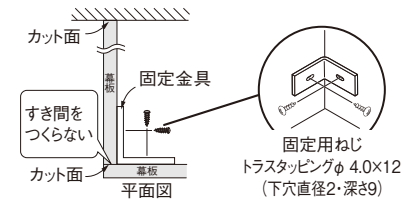
3 カウンターへの取り付け

- ①カウンター裏面に固定金具取り付け用の下穴をあける。
(直径2・深さ9mmの下穴)
※幕板を引出しの前板部分に合わせて仮置きしてください。
- ②幕板を取り付けた固定金具をカウンターに固定用ねじで2か所固定する。



コーナー部分の取り付け

- ①コーナー部分にすき間ができないよう、幕板同士を合わせ、固定金具を仮置きする。
- ②幕板裏面に固定金具取り付け用の下穴をあける。
(直径2・深さ9mmの下穴)
※幕板の厚みは15mmしかないため、下穴の深さには十分ご注意ください。
- ③幕板同士を固定用金具でねじ固定する。

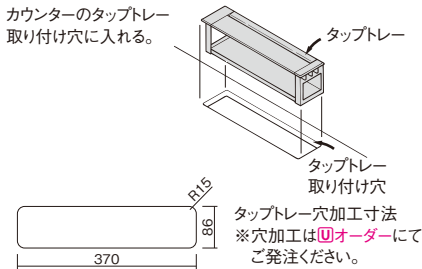


■施工後の確認

取り付けにがたつきがないか確認してください。
がたつきがあれば補修してください。

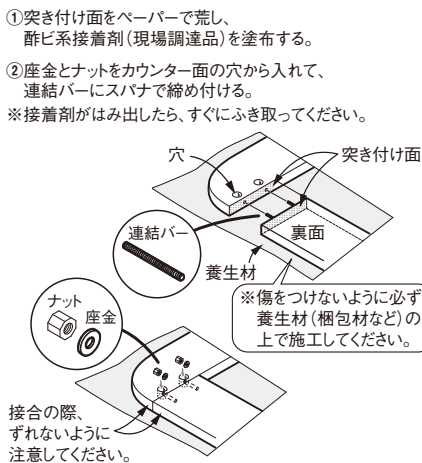
耐水集成タイプ タップトレイの取り付け

施工手順



耐水集成タイプ L型ジョイントされる場合

施工手順



注意 段差が発生する場合は表面を合わせ、裏面側で調整をお願いします。

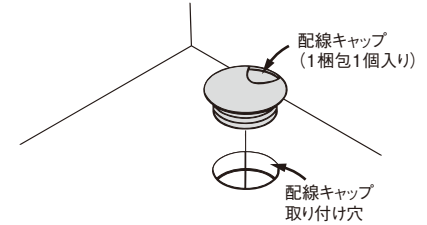
■施工後の確認

- 取り付けにがたつきがないか確認してください。
がたつきがあれば補修してください。
- 水平にジョイントされているか確認してください。
- 連結バーへ締め付けの際、カウンターを手で押さえながらしっかり固定してください。カウンターが回転して段差ができるおそれがあります。

耐水集成タイプ 配線用キャップの取り付け

施工手順

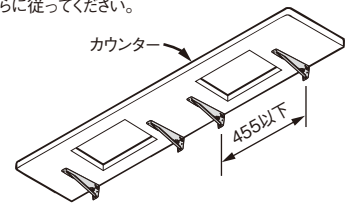
カウンターの配線キャップ取り付け穴に入れる。



耐水集成タイプ 洗面ボールを取り付ける場合

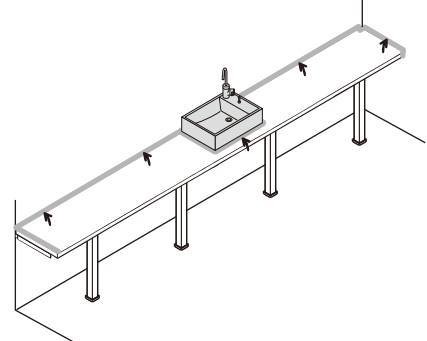
施工手順

- ①カウンターの設置
※カウンターの奥行き寸法が300mmを超える場合は、必ずアングルを使って施工してください。
※洗面ボールを設置する場合は必ず加工穴の左右をアングルで固定してください。
※洗面ボールの施工説明書に寸法指示がある場合は、そちらに従ってください。



- ②洗面ボールの設置
※洗面ボールの施工説明書を参照してください。
※カウンターと洗面ボールや水栓の間に水分が浸入しないように、洗面ボールの専用の止水パッキンやシリコンシーリング剤にて、止水処理をしてください。

- ③仕上げ
カウンターと背面や側面の壁と接するところは、シリコン系シーリング剤(防カビタイプ)にてシーリングする。



注意 壁面や洗面ボール、水栓と接する部分、カウンターとカウンターを突き付ける部分には必ずシリコンシーリングする。シーリングが不十分な場合、カウンターの膨れや割れが発生したり、水こぼれでユニットや床、壁を傷めるおそれがあります。

■施工後の確認

- 取り付けにがたつきがないか確認してください。
がたつきがあれば補修してください。
- コーキングがきれいにないか確認してください。

内装ドア

引き戸・引戸

折れ戸

戸襖ドア・戸襖引戸

幅広上り引戸

自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用建具

折れ戸

3枚連動引戸

開き扉

収納用内部パーツ

玄関用収納

クロークボックス

エントランスパーツ

コンポリア

造作部材・腰壁部材

スリット格子

窓枠セット

ジャストカットオーダー

インテリアカウンター

階段・手すり

防音建材

室内物干しユニット

床下収納ユニット

点検口

はしごユニット

補修用部材

はしごユニット

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材